
時の界楼

時雨奏楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時の界楼

【Nコード】

N7305Y

【作者名】

時雨奏楽

【あらすじ】

時の界楼は絶対開いてはいけない扉。

その扉が開くときは……………。

時の界楼へ開いたとき・儂い命へ

我は時の界楼の守護神である…。

我はもうすぐ旅立たなければならぬのだ。

(…どうして!どうしてあなた様が…あなた様は無くてはならない存在ですのに…)

みんな…ありがとう…でも、これは僕の最後の使命なのだ。いつかは必ず訪れる運命だから。僕は行くよ…。

時の界楼が開くとき、僕は行かなければならぬんだ。本当は開いてはいけない界楼が何年かに1度開いてしまう。それを閉じるのには、守護神の命が必要なのだ…。前守護神の方も同じように自分の命を使って界楼を閉じた。だから、僕は逃げるわけにはいかない。

(そんな…)

僕だって自分の命を使いたくないさ…でも、そうしないと君たちの人間界が界楼から飛びだした別空間の魔物たちに支配されてしまう。そんなことをさせるためにはいけない。

守護神はそういうことが起こらないためにこの扉を守っている。

逃げることは一切許されない。

さてと、もうそろそろお別れの時だな…。あまり話すと、心残りになってしまうからな。

私の後継者はお前らが決めるがよい。ただし、守護神は大変だから気を付けるよ…。

(ザクア様…僕らは一体どうすれば…)

…それは己に聞け。答えはもうお前たちの手の届くところにあるのだから。

(ザクア様…)

さらばだ！皆のもの！僕は…僕はお前たちと一緒に過ごせてとても楽しかった。

(ザクア様っっ！！ザクア様　　！！)

最後に聞こえたのは、下にいる何千人もの仲間たちの声だけだった…。

僕が最後に考えたのは、ここで消えたらどこへ行くのかということ。涙が止まらない中、最後に考えたのがこれだった。楽しいところ？それとも苦しいところ？みんな違うんだよね…。わからないけど後は天に身を任せるしかないよな…。

その時、また沢山の涙がこぼれた…。全てを忘れる覚悟でここに来たのに…。忘れよう、幼稚な奴がすることだしな…。

さよつな…ら…(シユン)

守護神ザクア・グリシアラが消えた瞬間、砂時計のように儂い命が
また散っていった…。

儂い虫達の命のように…

END

(後書き)

いねでおしまいですっっww

読んでくださってありがとうございますっ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7305y/>

時の界楼

2011年11月21日23時49分発行